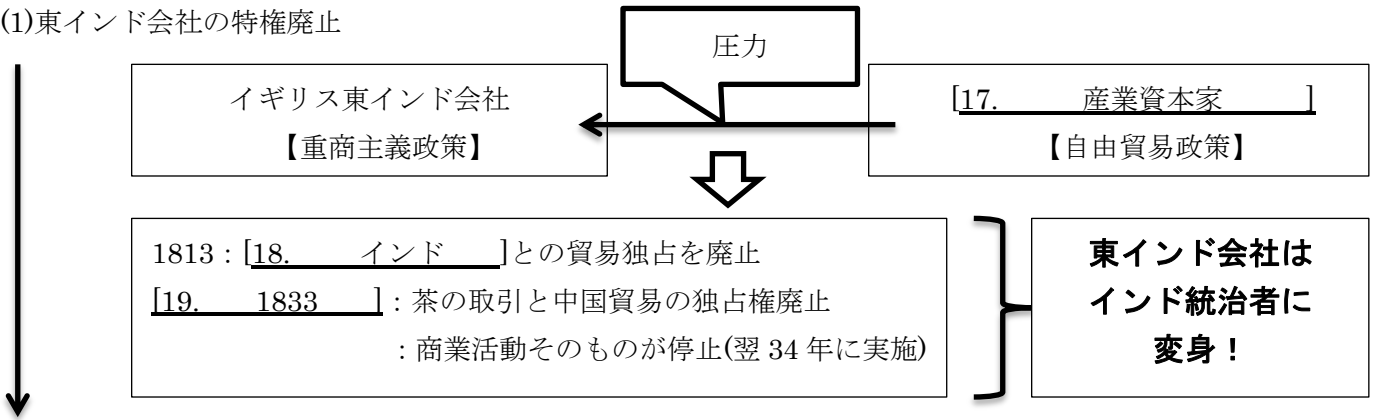




## 【植民地統治下のインド社会と大反乱】

### (1) 東インド会社の特権廃止



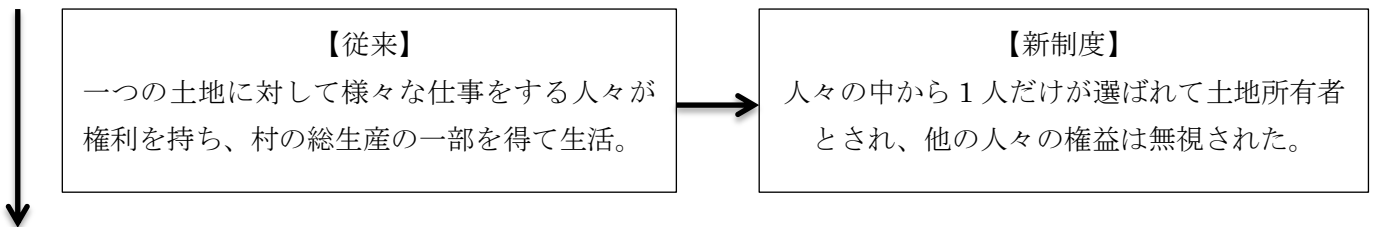
### (2) 地稅徴収

☆植民地政府の最大の目的：より多くの富を効率よく収奪すること。最大の収入源は[20. 地稅]

①[21. ザミンダーリー制]…仲介者に土地所有権を与える見返りに農民から地稅を徴収させる。

②[22. ライヤットワーリー制]…仲介者を排除して農民に土地保有権を与え、政府が直接徴稅。

### (3) インド社会の変化



### (4) [23. 経済的従属国] へ転落

【世界に誇るインド産綿布】⇒【産業革命】⇒【英国機械制綿布】⇒[24. 一次産品輸出・英国製品輸入]

### (5) インド大反乱

☆インド人傭兵 ([25. シパーヒー]) の乱から全民族的なインド大反乱へと発展!

・直接的契機：新式銃の弾薬包(口で噛み切る必要があったが、牛と豚の脂が塗布してあった)

・間接的要因：[26. 藩王国取り潰し政策]により没落した旧支配層の不满。

: 植民地支配の安定によるシパーヒーの解雇に対する反感

### (6) [27. ムガル帝国滅亡] (1858)

・イギリス軍がムガル皇帝を 1857 年に捕え、翌年ビルマに流刑にしたため、名実ともに滅亡した。

### (7) インド帝国の成立

#### ① [28. イギリス東インド会社解散] (1858)

・東インド会社のシパーヒーの乱での失政を見て、イギリス議会在新しいインド統治法を定めて解散させ、本国政府によるインド直接統治が開始された。

#### ② インド帝国の成立

・中央アジアからのロシアの南下を警戒するディズレーリはインド統治の確立を世界に示す必要からインド帝国の建国を急ぎ[29. ヴィクトリア女王]をインド皇帝として即位させ、インド帝国が成立した。

・分割統治…従来の強圧的な政策を改め、保守的な藩王国を懐柔して民族運動抑圧のために利用する政策をとったり、宗教やカースト上の差異を利用したりする政策を取った。